

国際ロータリー第2530地区東北第一分区



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹6-2 ザ・36・メイファイ1F2号室
tel.024-546-3793 fax.024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30
tel.024-523-3811(代) fax.024-523-0375
HPアドレス http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html

■会長:黒羽 好夫 ■幹事:高橋 勇雄
■会報委員長:金子 親房 ■副委員長:鈴木 光一 ■委員:橋詰 英行・丹治 智幸・丹治 洋子・須田 敬光



2010年-2011年RIテーマ

第28回例会 平成23年2月2日(水) サンパレス福島
 ■メークアップ/28名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/39名 ■出席率/58.21%

本日のプログラム

1 開会点鐘	7 会員増強について
2 国歌斉唱 君が代	8 幹事報告
3 ロータリーソング 我らの生業	9 ロータリー財団恒久基金
4 四つのテスト	ベネファクター
5 会長挨拶	10 プロジェクトR
6 ロータリーの友、読みどころ	11 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

2月9日(水) 誕生祝い・新会員スピーチ・IM報告	2月23日(水) 40周年式典への概略と経過説明・IAC表彰式
2月16日(水) クラブフォーラム・ガバナー補佐訪問	3月2日(水) 誕生祝い・ロータリーの友読みどころ・クラブ協議会(次年度委員会構成案発表)

◆会長挨拶◆黒羽 好夫 会長



2月は世界理解月間になっております。世界理解月間とは何か？インターネット、ロータリーの友などで調べましたが、これだ！という明確な説明が見つかりませんでした。

その中から私なりに考えますと一つは1905年2月23日にロータリーが誕生した月であること。また一つには、ポールハリスの「国家間の好意を促進する組織としてのロータリー」というビジョンがあり、それは個人個人のレベルから相互理解を進めていくことが親睦や平和に結びつくのではないかと考えています。

そして国際理解を進めるために「ロータリー財団」や「ロータリー交換プログラム」によって親睦を深め、より平和な世界を作る担い手として明日のリーダーたちを養成していくことがロータリーの大事な仕事であり、責務であります。1月16日にはサンディエゴで国際協議会が開催されました。カルヤン・パネルジーRI会長エレクトから2011-12年度のRIテーマ発表されました。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。

カルヤン・パネルジーRI会長エレクトは「自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく「出でて奉仕し」、世界で博愛を広げてください。と呼びかけました。

これにより国際ロータリーでも次年度へ向けての準備がスタートしました。

詳しい内容はベツツの後に高橋和之会長エレクトから発表があると思いますのでご期待ください。

 会長幹事会の報告
 会員増強クラブフォーラム
 2012-13年度RI会長に埼玉県八潮RCの田中作次RI理事が6月の国際協議会で正式に選出される運びです。

◆ロータリーの友読みどころ◆
雑誌委員会 松崎 弘昭 委員長
 ○RI基本長期計画
 ○5つの価値観(親睦・奉仕・高潔性・多様性・リーダーシップ)
 ○ガバナー紹介ページ(大橋ガバナーのメッセージ有)
 ○パレスチナ地区でのロータリー誕生
 ○有田の伝統を語る(職人は不器用な方がいい・職人を育てることが第一の責任・時代に合った商いをせよ)
 ○50週連続100%出席達成

◆会員増強について◆ 高橋 和之 会員

会員増強委員長よりクラブフォーラムの案内をいただきましたが、2枚にわたる職業分類から、入会されるような方はいませんか？というようなヒントがありました。ご協力いただければと思います。2月4日に1回目の回収を行い、10日にあらためてご案内いたします。16日にクラブフォーラムを行います。

クラブフォーラムとは「4大奉仕の中から問題を取り上げ、それらの実施・推進について全会員が討論して進路を見出そうとする会合。会員の公式会合でクラブ討論会とも言う」ということであります。

会員増強は非常に重要なロータリー活動の一つであります。どうか皆様のご協力宜しくお願い致します。



◆ロータリー財団 恒久基金 ベネファクター

金子興宏会員へベネファクターが届きました。ご協力ありがとうございます。



◆プロジェクトR◆ 松崎 弘昭 会員

私は昭和59年に資格取得し、開業してから今年で26年目になります。

今日は、私共の仕事について、そして、社会貢献の一環として業界で立ち上げた「境界紛争解決支援センター」に纏わる幾つかのお話をさせていただきます。

私共の仕事について、登記情報の中にある所有権とか貸借権というような権利に関する登記は、司法書士がその業務として取り扱っており、その権利の客体となるものに係る登記が私共土地家屋調査士の業務ということになります。

境界紛争解決支援センターとは土地の境界が不明確なことに関係した、民事に関する紛争について、相談や調停をすることであります。裁判のような(100対0)解決の方法ではなくて、将来に亘る良好な隣人関係を築いていけるような解決を目指しています。



紛争を扱う人間として、その原因となる考え方の違いや言葉の使い方、あるいは紛争の解決に繋がる心理学や脳科学の分野から皆さんにとってためになることを幾つか紹介いたします。

私のような専門家は、一般的に閉ざされた環境に居るため、相手との意見や考え方の違いを受け入れるといった許容範囲が少し狭い傾向にあると言われております。そして、残念なのは、本人がそのことに全く気付いていないことでもあります。紛争を防止す

る意味でも、相手との違いを受け入れる、あるいは、受け入れるまでいなくてもその違いを理解しなければならぬということだと思います。

それから日本語の言葉の意味や使い方には面白いところがあります。「すいません」という言葉がありますが、これには、いろいろな意味がありますし、逆に同じ意味の言葉でもいろいろな言い方があります。また、声のトーンや対応の姿勢によっても相手に対して伝わり方が大きく違ってくるものです。つまり、言葉の使い方と紛争は密接な関係にあります。

最後に、今流行りの脳科学から見た紛争についてお話をさせていただきます。紛争といったらストレスが溜まるものですが、不思議なことにストレスが無ければ人間は生きていけないし、多すぎても生きていけないのです。長い付き合いとなる夫婦間では、離婚率が高くなっていることでも分かるように、そのストレスは大変なものになっているようです。

そこで、危機的な状況の夫婦に対して朗報があります。そもそも人間の脳の働きを調べてみると、生命に直接係わるような怒り、恐怖、興奮とかは脳幹部分が司っていて、理性とか教養といったものは大脳皮質でその間を取りもって感情を抑えたり、我慢をしたりの調整機能が眼窩前頭皮質であるといわれています。脳幹の働きは生命に係わるものだけに、身体への負担が大きく長続きしないのが味噌で、せいぜい1時間程度らしいです。この脳の働きを分かると対応すれば、奥さんが怒っているときは、どうせ脳幹の働きは長続きしないのだから、興奮して脳幹が活発に働いていると思ったら、まずは黙って静かに聞いてやることなのです。そして脳幹の働きが完全に治まった頃合いをみて、奥さんの理性脳にやさしく話しかけてみるといったことが効果的になります。

どうか夫婦間で危機的な状況にある方は実践で試してみても如何でしょうか。

◆スマイリングボックス◆

- 松崎会員の卓話に感謝して。黒羽好夫会長
- 会員増強にご協力ありがとうございます！ 高橋和之会員
- 松崎氏のスピーチを拝聴出来るので 富田健三郎会員
- 去年より4K減ありがたい(人間ドッグのデータより) 林克重会員
- 松崎会員のスピーチに感謝して。廣澤俊樹会員

スマイル 34,000円 累計 1,038,701円
 財団・米山 44,000円 累計 1,062,000円

～私の職業の目的～ 斉藤 善重 会員
 気分良く食べ、飲み、呑める為の容器の提供

―編集後記―
 2月3日は節分。豆まき 福は内、鬼は外
 お口の中は恵方巻(金子)